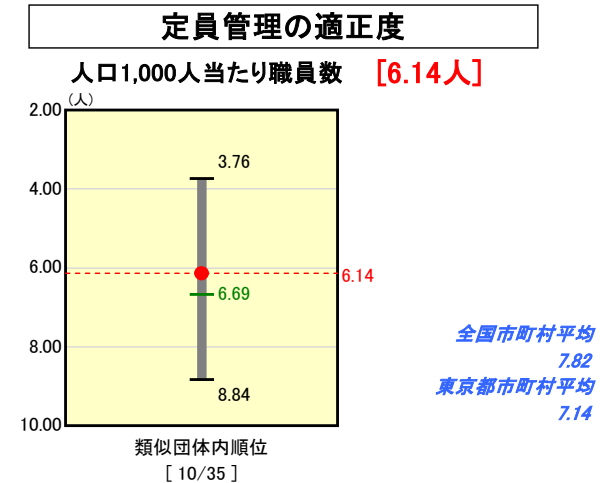
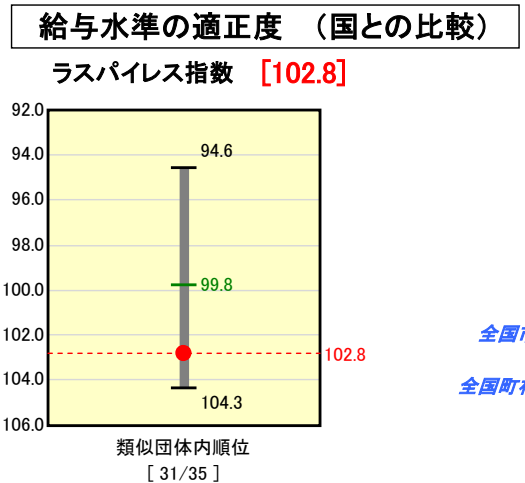
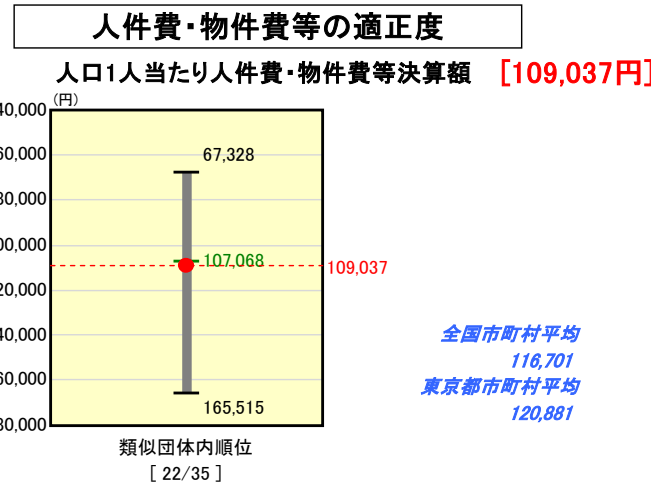
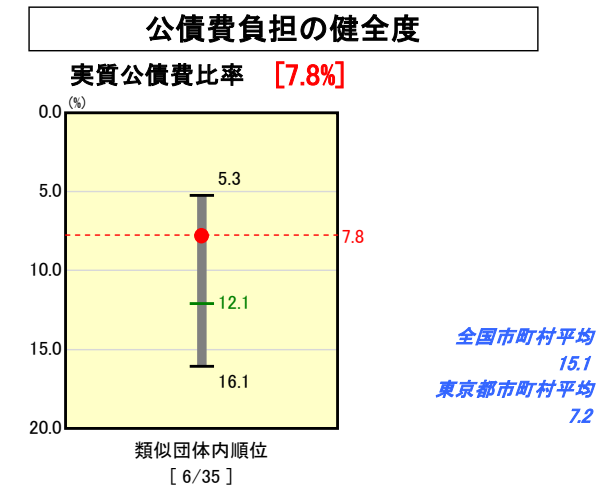
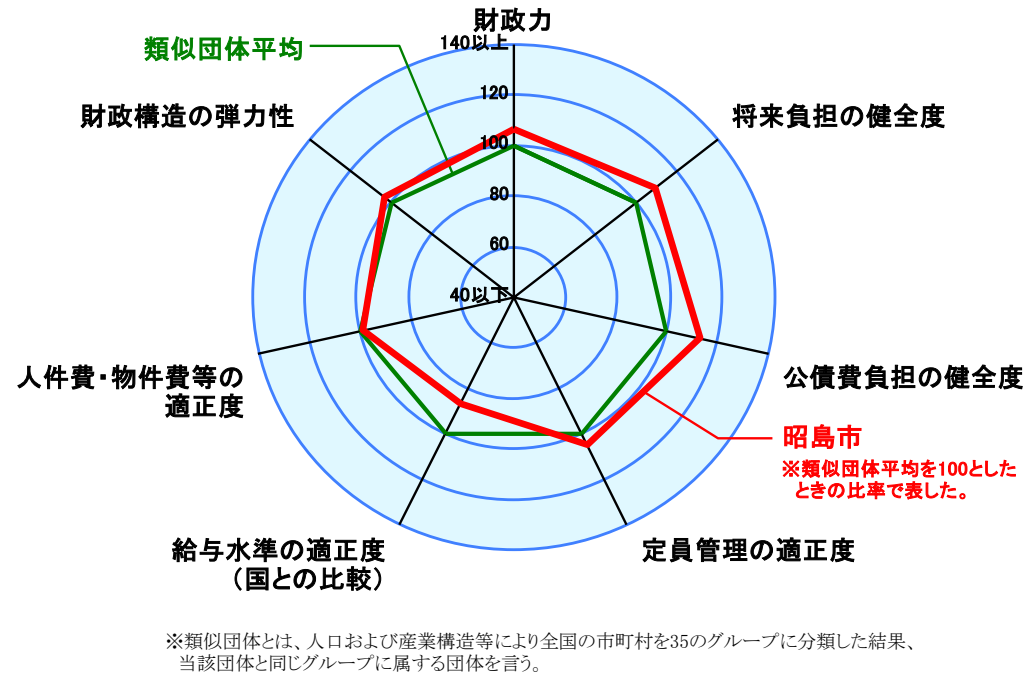
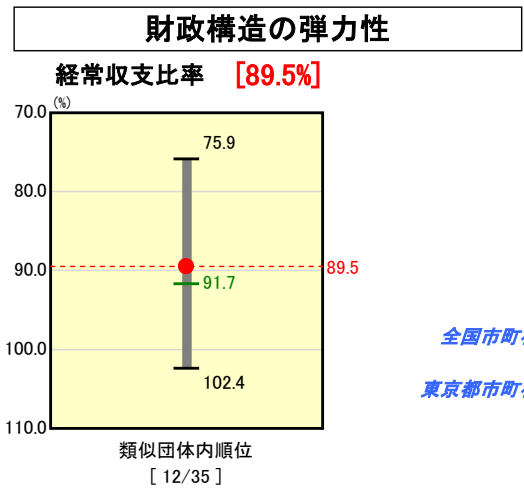
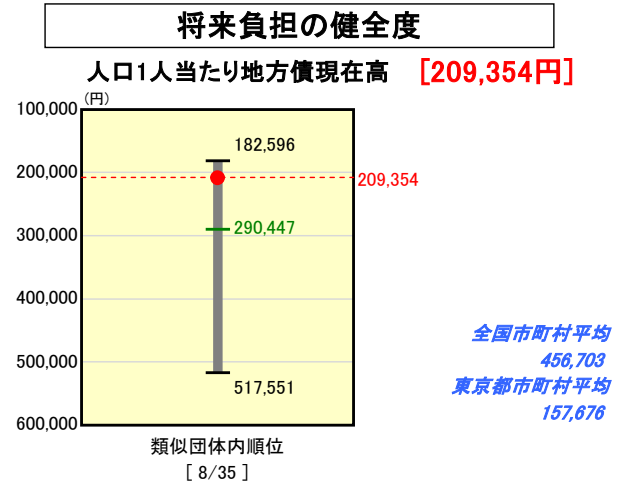
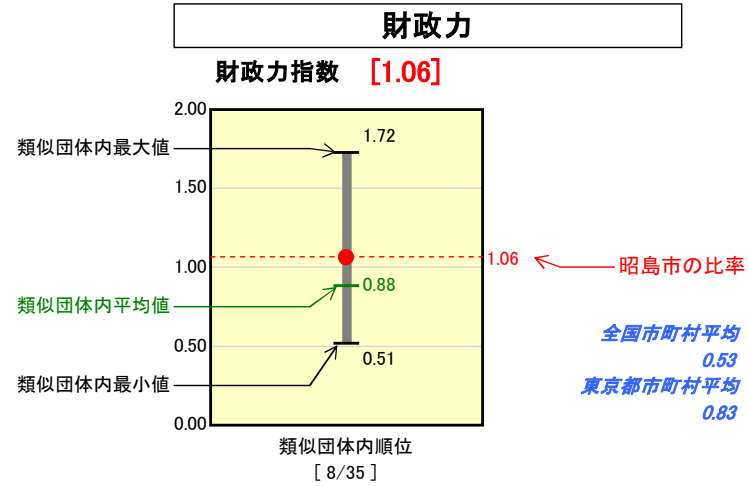


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

東京都 昭島市

人口	110,372 人(H19.3.31現在)
面積	17.33 km ²
歳入総額	34,677,243 千円
歳出総額	33,726,270 千円
実質収支	837,481 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
ここ5年間で連続した伸びを見せており、1.06となっている。好調な企業収益を反映した法人市民税の調定額の伸びが、大きな要因と考えられる。

経常収支比率
市税・国民健康保険税などの徴収率向上などにより類似団体平均を下回ったものの、東京都市町村平均は上回るなど、未だ高い水準にある。事務事業の更なる見直しを実施し、経常経費を削減するとともに、市税等徴収率向上など更なる歳入の確保策を推進し、「平成23年度に85.0%以内」を目標に行財政の健全化に努め、改善を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
ほぼ類似団体平均に位置するが、東京都に委託している常備消防委託金、一部事務組合負担金及び公営事業会計繰入金における人件費・物件費等の費用を合計した場合、人口1人当たりの金額は大幅に増加することになる。今後はこれらも含めた経費について抑制し、更に効率的な財政運営に努める。

ラスパイレース指数
給与制度の見直しが遅れ、高い水準(類似団体平均を3.0ポイント上回っている)となっている。今後は「第三次中期行財政運営計画」に基づき、給与の適正化に努め、類似団体の水準まで低下させる。

人口1人当たり地方債現在高
近年大規模建設事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後、拝島駅周辺整備事業、昭和公園野球場等整備事業などを予定しており、多額の地方債発行が見込まれる。臨時財政対策債などの地方債発行の抑制等に努め、引き続き低位の水準に留める。

実質公債費比率
現在のところ類似団体平均を下回っているが、起債制限比率の推移等を勘案すると増加傾向にある。今後、拝島駅周辺整備事業、昭和公園野球場等整備事業など大規模建設事業も予定されているため、特例地方債の抑制とともに起債対象事業の限定を図り、起債(借金)に大きく頼ることのない事業執行に努める。

人口1,000人当たり職員数
平成6年度から、事務事業見直しによる職員の削減などに努めた結果、類似団体平均を下回っている。今後も、引き続き「第三次昭島市中中期行財政運営計画」に基づいて適切な定員管理に努める。